

# 1. 東日本大震災が被災地住民の心身の健康に 及ぼした影響に関する実証分析

研究代表者 吉田 浩

次の論文は、東北経済学会（平成 25 年 9 月 28 日）にて報告を行ったものである。

# 「東日本大震災が被災地住民の心身の健康に 及ぼした影響に関する実証分析」

## An Empirical Study on the effect of the Tohoku Earthquake on the Health of Residents in the Disaster Area. \*

東北経済学会報告資料

2013.09.28

吉田 浩<sup>1</sup>

### 1. 調査の概要

**調査 A** 佃 良彦、増田 聡、吉田 浩、渡邊 壽大、佐藤 美喜子 「東日本大震災後の健康および生活に関するアンケート調査（基本集計結果）」 2013年4月  
（被災3県（岩手・宮城・福島）とそれ以外の都道府県を対象とし、インターネット調査会社を通じて、全国の登録会員に調査協力を依頼し、850サンプル（うち被災3県480サンプル、その他全国の都道府県370サンプル）より1.身体の健康、2.心の健康、3.医療機関の受診状況、4.生活環境の変化、5.放射能に対する意識、6.居住地の変化に関する回答を得た。調査日は東日本大震災から2年が経過した後の2013年3月21日であった。）

---

\* 本報告のもととなった研究(調査 A)に対して、厚生労働省科学研究費補助金『東日本大震災等による医療・保健分野の統計調査の影響に関する高度分析と評価・推計』(H24-統計-一般-002(復興))による助成を受けた。( <http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/strategy/RS/sub5/sub5.html> 東アジア長期持続的成長の経済システム科学研究拠点の形成と展開)の助成を受けた。

<sup>1</sup> 東北大学経済学研究科・災害科学国際研究所 教授(兼任)hyoshida@econ.tohoku.ac.jp

## 2. 健康・生活関連調査の結果報告

### 2-1 健康に関する調査結果

#### (1) 被災直後に被災地住民の健康状態が悪化していたことを統計的に確認

初めに東日本大震災の発生した3ヶ月後の心身の健康状態（良い・普通・悪い）を尋ねたところ、被災3県の住民の方が、それ以外の地域の住民に比べて当時健康状態が「悪い」と答えた割合が高く、この傾向は特に「心の健康」面で大きかったことがわかった。

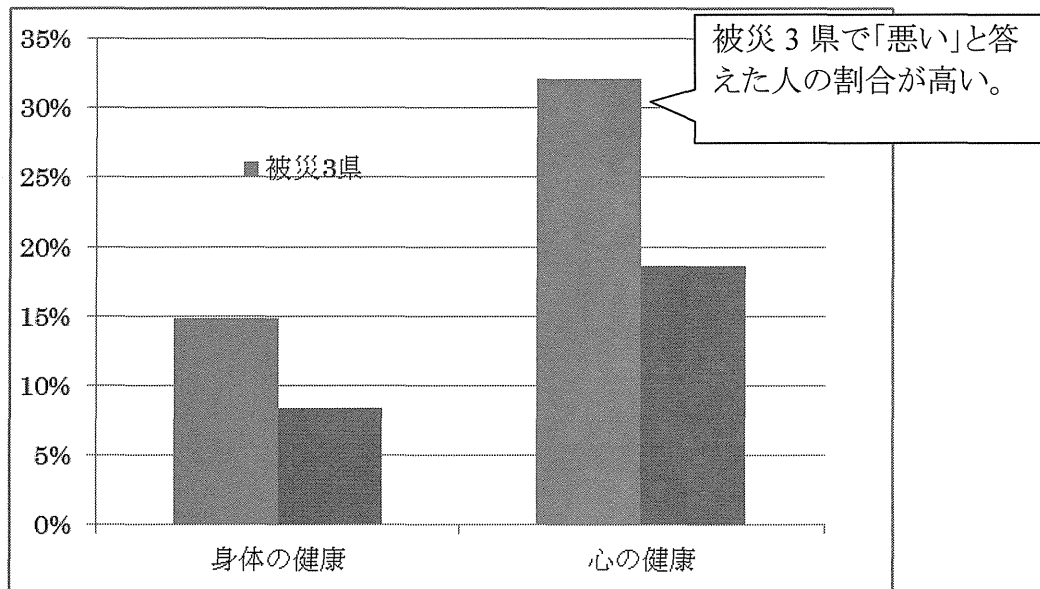
※震災のあった年は『国民生活基礎調査』（厚生労働省）による全国規模の健康調査が行われなかったため、この調査で全国レベルで比較できる当時の統計が得られたことになる。

表1 東日本大震災直後の心身の健康状態

	身体の健康				心の健康			
	全体	良い	普通	悪い	全体	良い	普通	悪い
被災3県	480	20	389	71	480	20	306	154
	100.0	4.2	81.0	14.8	100.0	4.2	63.8	32.1
その他全国	370	14	325	31	370	11	290	69
	100.0	3.8	87.8	8.4	100.0	3.0	78.4	18.6
全体	850	34	714	102	850	31	596	223
	100.0	4.0	84.0	12.0	100.0	3.6	70.1	26.2

注：上段は件数、下段は比率。今回のアンケート調査結果（Q1,Q2）より筆者作成。質問文は「あなたの身体（心）の健康についてお伺いいたします。東日本大震災時と現在の身体（心）の健康状態についてご回答ください。選択肢の中から当てはまるものをお選びください。なお、ここで東日本大震災時とは東日本大震災後3ヵ月後くらいまでを指します。」である。

図1 東日本大震災直後の心身の健康状態が「悪い」と答えた人の割合



注：表1に同じ。

(2) 被災後2年間で被災地内での健康格差が拡大しつつある

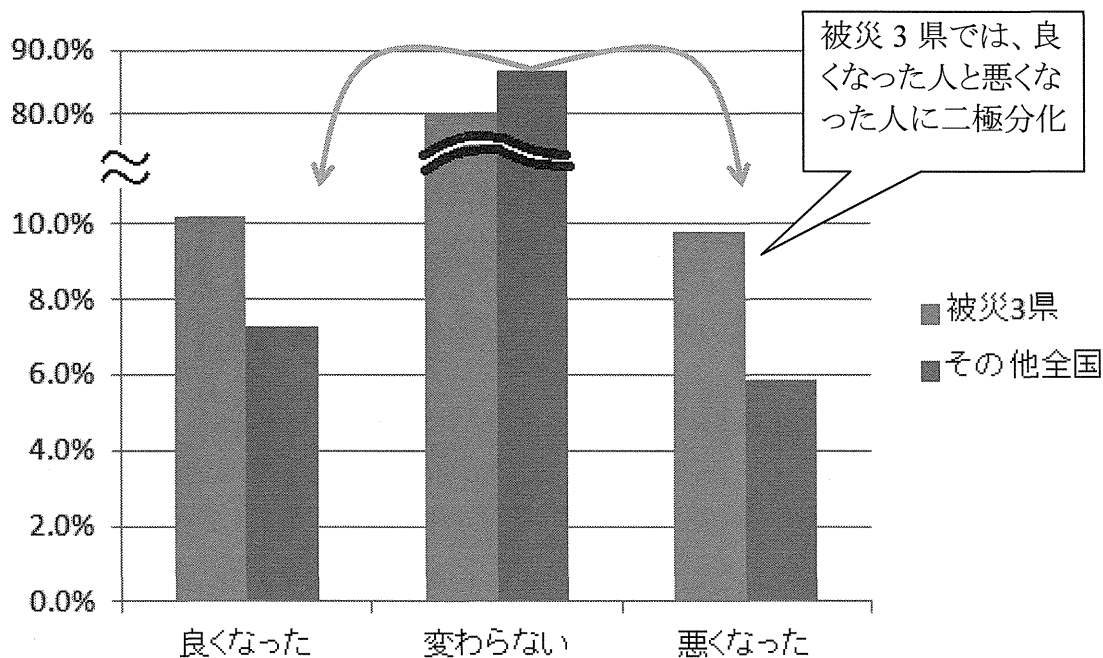
次に被災後2年間で健康状態の変化（良くなった・変わらない・悪くなった）について尋ねたところ、被災3県の住民では「良くなった」とする人の割合がそれ以外の地域よりも高く、震災後2年を経て健康回復の傾向が観察された。その一方で、「悪くなった」と答えた人の割合も被災3県の住民が高く、健康回復が「出来つつある人」と「来ていない人」で格差が起きていることもわかった

表2 震災後2年の間の心身の健康状態の変化

	身体の状態				心の状態			
	全体	良くなった	変わらない	悪くなった	全体	良くなった	変わらない	悪くなった
被災3県	480	49	384	47	480	75	341	64
	100.0	10.2	80.0	9.8	100.0	15.6	71.0	13.3
その他 全国	370	27	321	22	370	37	301	32
	100.0	7.3	86.8	5.9	100.0	10.0	81.4	8.6
全体	850	76	705	69	850	112	642	96
	100.0	8.9	82.9	8.1	100.0	13.2	75.5	11.3

注：上段は件数、下段は比率。今回のアンケート調査結果（Q1,Q2）より筆者作成。質問文は「あなたの身体（心）の健康についてお伺いいたします。東日本大震災時と現在の身体（心）の健康状態についてご回答ください。選択肢の中から当てはまるものをお選びください。」である。

図2 震災後2年の間の身体の状態の変化



注：表2に同じ。

(3) 女性、年配者で健康への影響が大きい

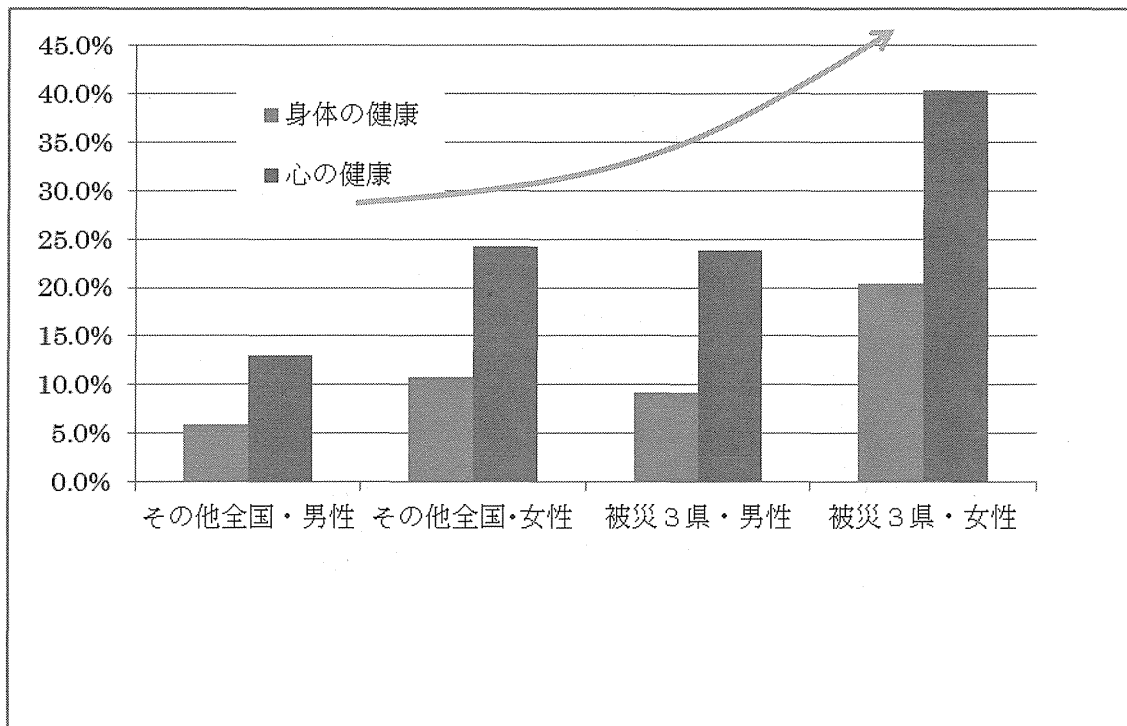
性別に回答結果を集計したところ、被災地では震災直後が「悪い」そしてその後2年経過して「悪くなった」と回答した人の割合は男性よりも女性で高くなっています。また、年齢別50歳未満の比較的若い世代は被災後2年の間に「良くなった」と回復した人の割合が高かったのに対して、50歳以上の年配者の世代は「悪くなった」と回答した人の割合が高く、世代間での健康回復の格差もわかった。

表3 東日本大震災直後の心身の健康状態・男女別

		身体の健康				心の健康			
		全体	良い	普通	悪い	全体	良い	普通	悪い
被災3県	男性	240	12	206	22	240	9	174	57
		100.0	5.0	85.8	9.2	100.0	3.8	72.5	23.8
	女性	240	8	183	49	240	11	132	97
		100.0	3.3	76.3	20.4	100.0	4.6	55.0	40.4
その他全国	男性	185	6	168	11	185	5	156	24
		100.0	3.2	90.8	5.9	100.0	2.7	84.3	13.0
	女性	185	8	157	20	185	6	134	45
		100.0	4.3	84.9	10.8	100.0	3.2	72.4	24.3
全体		850	34	714	102	850	31	596	223
		100.0	4.0	84.0	12.0	100.0	3.6	70.1	26.2

注：上段は件数、下段は比率。他は表1に同じ。男女別に集計。

図3 東日本大震災直後の心身の健康状態が「悪い」と答えた人の割合・男女別



注：表3に同じ。

表4 震災後2年間の心身の健康状態の変化・年齢別

		身体の健康				心の健康			
		全体	良くなった	変わらない	悪くなった	全体	良くなった	変わらない	悪くなった
被災 3県	49歳	288	39	224	25	288	58	197	33
	以下	100.0	13.5	77.8	8.7	100.0	20.1	68.4	11.5
	50歳	192	10	160	22	192	17	144	31
	以上	100.0	5.2	83.3	11.5	100.0	8.9	75.0	16.1
その他 全国	49歳	222	20	188	14	222	29	179	14
	以下	100.0	9.0	84.7	6.3	100.0	13.1	80.6	6.3
	50歳	148	7	133	8	148	8	122	18
	以上	100.0	4.7	89.9	5.4	100.0	5.4	82.4	12.2
全体		850	76	705	69	850	112	642	96
		100.0	8.9	82.9	8.1	100.0	13.2	75.5	11.3

注：上段は件数、下段は比率。他は表2に同じ。年齢別に集計。

#### (4) 医療機関の受診状況

次に医療機関の受診状況についての結果をみる。はじめに震災直後は被災地の男性で必要な受診をしていない人の比率がやや多いのがわかる。

表5 東日本大震災時の受診状況

		全体	受診している	必要だが受診していない	受診の必要が無い
全体		850	232	91	527
		100.0	27.3	10.7	62.0
居住地域 男女別	被災地・男性	240	59	32	149
		100.0	24.6	13.3	62.1
	被災地・女性	240	69	22	149
		100.0	28.8	9.2	62.1
	その他・男性	185	55	19	111
		100.0	29.7	10.3	60.0
	その他・女性	185	49	18	118
		100.0	26.5	9.7	63.8

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

Q3:あなたの病院等への受診状況についてお伺いします。現在の身体と心の健康疾患にかかわる病院等への受診状況をご回答ください。選択肢の中から当てはまるものをお選びください。

次に現在では男女ともに被災地で必要な受診をしていない人が多くなっている。

表6 現在の受診状況

		全体	受診している	必要だが受診していない	受診の必要が無い
全体		850	59	82	709
		100.0	6.9	9.6	83.4
居住地地域男女別	被災地・男性	240	17	27	196
		100.0	7.1	11.3	81.7
	被災地・女性	240	15	23	202
		100.0	6.3	9.6	84.2
	その他・男性	185	16	17	152
		100.0	8.6	9.2	82.2
	その他・女性	185	11	15	159
		100.0	5.9	8.1	85.9

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す

## 2-2 生活環境の変化

Q4:あなたの東日本大震災前との生活環境の変化について伺います。現在の収入・住環境・人間関係について東日本大震災前と比較してご回答ください。選択肢の中から当てはまるものをお選びください。

### (1) 収入

表7 収入の変化

		全体	良くなった	少し良くなった	変わらない	少し悪くなった	悪くなった
全体		850	21	58	519	149	103
		100.0	2.5	6.8	61.1	17.5	12.1
居住地地域別	被災3県	480	14	38	276	81	71
		100.0	2.9	7.9	57.5	16.9	14.8
	その他地域	370	7	20	243	68	32
		100.0	1.9	5.4	65.7	18.4	8.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

(2) 住環境

表8 住環境の変化

		全体	良くなった	少し良くなった	変わらない	少し悪くなった	悪くなった
全体		850	19	35	659	91	46
		100.0	2.2	4.1	77.5	10.7	5.4
居住地域別	被災3県	480	15	24	329	72	40
		100.0	3.1	5.0	68.5	<b>15.0</b>	<b>8.3</b>
	その他地域	370	4	11	330	19	6
		100.0	1.1	3.0	89.2	5.1	1.6

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

(3) 人間関係

表9 人間関係の変化

		全体	良くなった	少し良くなった	変わらない	少し悪くなった	悪くなった
全体		850	15	81	652	75	27
		100.0	1.8	9.5	76.7	8.8	3.2
居住地域別	被災3県	480	10	56	342	53	19
		100.0	2.1	<b>11.7</b>	71.3	<b>11.0</b>	<b>4.0</b>
	その他地域	370	5	25	310	22	8
		100.0	1.4	6.8	83.8	5.9	2.2

注：表の上段は、回答者数（人）。下段は、全体に対する回答率（％）を表す。

参考文献

(調査A) 佃 良彦, 増田 聡, 吉田 浩, 渡邊 壽大, 佐藤 美喜子 (2013) 「東日本大震災後の健康および生活に関するアンケート調査 (基本集計結果)」東北大学経済学研究科 TERG Discussion Paper No.295.

Available from <http://www.econ.tohoku.ac.jp/e-dbase/dp/terg/terg295.pdf>

(調査B) 吉田 浩, 佐藤 美喜子 「東日本大震災に関する世論調査 (基本集計結果)」2013年5月 東北大学経済学研究科 TERG Discussion Paper No.296.

Available from <http://www.econ.tohoku.ac.jp/e-dbase/dp/terg/terg296.pdf>



附表1 順序プロビットによる震災時の身体の健康に関する回帰分析結果

	全体		被災3県		その他地域	
	$\beta$	P値	$\beta$	P値	$\beta$	P値
[q1s1 = 1]	-.243	.800	.794	.530	-1.962	.202
[q1s1 = 2]	5.146	.000	6.031	.000	3.674	.019
女性ダミー	.616	.002	.822	.001	.317	.316
年齢	.107	.017	.154	.010	.049	.478
年齢の2乗	-.105	.029	-.151	.021	-.049	.505
被災後転居ダミー	.818	.002	1.046	.001	.139	.801
自営業ダミー	-.155	.703	-.425	.421	.336	.597
被災地3県ダミー	.315	.104				
NOB	850		474		376	

被説明変数：東日本大震災時の身体の健康状態（1=良い、2=普通、3=悪い）。

附表2 順序プロビットによる2年間の身体の健康の変化に関する回帰分析結果

	全体		被災3県		その他地域	
	$\beta$	P値	$\beta$	P値	$\beta$	P値
[q1s2 = 1]	-1.228	.173	-.122	.915	-3.729	.018
[q1s2 = 2]	3.932	.000	4.650	.000	2.347	.130
女性ダミー	-.289	.122	-.118	.612	-.677	.040
年齢	.024	.560	.059	.269	-.064	.363
年齢2乗	.003	.948	-.028	.628	.088	.239
被災後転居ダミー	-.148	.588	.064	.838	-.475	.372
自営業ダミー	-.066	.868	.091	.853	-.148	.835
必要通院なしダミー	1.044	.000	.923	.012	1.460	.005
収入少し悪化	.185	.468	.019	.952	.414	.353
収入悪化	-.033	.914	-.096	.789	.066	.909
住環境少し悪化	.349	.263	-.017	.959	1.880	.003
住環境悪化	.095	.826	.281	.547	-.895	.375
人間関係少し悪化	.909	.006	.786	.041	.810	.212
人間関係悪化	1.865	.000	1.430	.019	2.240	.011
被災3県ダミー	-.046	.810				

被説明変数：東日本大震災時と比較した現在の身体の健康状態（1=良くなった、2=変わらない、3=悪くなった）

附表3 順序プロビットによる現在の身体の健康に関する回帰分析結果

	全体		被災3県		その他地域	
	$\beta$	P値	$\beta$	P値	$\beta$	P値
[QA = 1]	.040	.965	.558	.638	-3.956	.013
[QA = 2]	5.318	.000	1.512	.196	-3.050	.051
[QA = 3]	7.726	.000	6.501	.000	2.967	.058
[QA = 0]	-.886	.337	9.030	.000	5.392	.001
女性ダミー	.250	.172	.503	.031	-.195	.536
年齢	.089	.034	.151	.006	-.035	.617
年齢2乗	-.069	.122	-.131	.028	.058	.431
被災後転居ダミー	.425	.112	.667	.030	-.140	.805
自営業ダミー	-.217	.577	-.167	.738	-.305	.658
必要通院なしダミー	.751	.006	.757	.031	1.096	.025
収入少し悪化	.612	.012	.240	.442	1.247	.003
収入悪化	.221	.445	-.012	.971	.581	.317
住環境少し悪化	.597	.036	.140	.668	2.089	.000
住環境悪化	.831	.027	.772	.065	1.372	.197
人間関係少し悪化	1.492	.000	1.534	.000	1.363	.014
人間関係悪化	1.226	.008	.850	.144	1.423	.085
被災3県ダミー	.105	.583				

被説明変数QA : Q1S1 と Q1S2 から作った現在体調 (q1s1+ (+1、0、-1))

附表4 順序プロビットによる震災時の心の健康に関する回帰分析結果

	全体		被災3県		その他地域	
	$\beta$	P値	$\beta$	P値	$\beta$	P値
[q1s1 = 1]	-2.232	.004	-2.812	.005	-1.868	.137
[q1s1 = 2]	2.229	.004	1.191	.226	3.178	.012
女性ダミー	.621	.000	.630	.001	.618	.015
年齢	.031	.375	.008	.854	.070	.216
年齢の2乗	-.038	.312	-.014	.783	-.080	.186
被災後転居ダミー	.391	.071	.350	.170	.431	.302
自営業ダミー	-.489	.153	-.675	.118	-.109	.844
被災地3県ダミー	.500	.001				
NOB	850		474		376	

被説明変数 : 東日本大震災時の心の健康状態 (1=良い、2=普通、3=悪い)。

附表5 順序プロビットによる2年間の心の健康の変化に関する回帰分析結果

	全体		被災3県		その他地域	
	$\beta$	P値	$\beta$	P値	$\beta$	P値
[q1s2 = 1]	-.636	.422	-.037	.971	-1.465	.263
[q1s2 = 2]	3.745	.000	3.878	.000	3.830	.004
女性ダミー	-.269	.099	-.201	.326	-.394	.160
年齢	.036	.326	.051	.283	.002	.975
年齢2乗	-.011	.775	-.032	.544	.032	.620
被災後転居ダミー	-.336	.158	-.446	.105	.143	.769
自営業ダミー	.064	.853	.097	.824	.286	.654
必要通院なしダミー	.953	.000	.778	.018	1.357	.004
収入少し悪化	.182	.415	.131	.645	.156	.685
収入悪化	.203	.450	.297	.349	.147	.777
住環境少し悪化	.678	.014	.411	.170	1.758	.003
住環境悪化	.482	.210	.757	.067	-1.267	.189
人間関係少し悪化	.907	.002	.493	.147	1.812	.001
人間関係悪化	1.970	.000	1.517	.007	2.608	.002
被災3県ダミー	-.232	.169				

被説明変数：東日本大震災時と比較した現在の心の健康状態（1=良くなった、2=変わらない、3=悪くなった）

附表6 順序プロビットによる現在の心の健康に関する回帰分析結果

	全体		被災3県		その他地域	
	$\beta$	P値	$\beta$	P値	$\beta$	P値
[QB = 1]	-2.268	.007	-2.775	.010	-1.793	.203
[QB = 2]	-1.521	.065	-2.052	.052	-.996	.470
[QB = 3]	3.207	.000	2.279	.031	4.452	.002
[QB = 0]	4.966	.000	4.040	.000	6.336	.000
女性ダミー	.386	.017	.433	.034	.380	.166
年齢	.041	.275	.021	.659	.069	.270
年齢2乗	-.031	.432	-.014	.785	-.056	.399
被災後転居ダミー	-.141	.560	-.361	.201	.453	.333
自営業ダミー	-.368	.292	-.395	.380	-.290	.634
必要通院なしダミー	.430	.080	.333	.289	.692	.100
収入少し悪化	.434	.041	-.150	.595	1.199	.001
収入悪化	.563	.023	.564	.058	.667	.166
住環境少し悪化	.744	.002	.673	.016	1.205	.018
住環境悪化	.969	.004	1.256	.001	.250	.794
人間関係少し悪化	.847	.001	.542	.084	1.590	.001
人間関係悪化	1.014	.015	.615	.233	1.237	.097
被災3県ダミー	.191	.257				

被説明変数QB:Q2S1とQ2S2から作った現在の心の状態（q2s1+ (+1, 0, -1)）

## 2. 東日本大震災、被災地・首都圏比較調査からわかること

研究代表者 吉田 浩

次の論文は『東日本大震災からの経済復興と都市自治体財政の課題』（公益財団法人 日本都市センター，2014年3月）に掲載されたものである。

## 第7章 東日本大震災、被災地・首都圏比較調査からわかること

東北大学大学院経済学研究科教授 吉田 浩

### はじめに

東日本大震災について、マスコミからは復興をエピソード的に伝え、また、つい最近では外国人にも理解してもらえるように英語版の写真集も出されている。このような事例から、多くの人々には確かに大変なことが起きたとは理解されているが、しかし、実際にどのような影響があり、それがどのくらいの大きさだったのかを取りまとめたものはいまだない。また、東日本大震災の被災地を調査したものはあるが、被災地と被災地ではないところを比べて、どのくらいの大きさの差があるのかと調べたものもあまりない。

去年の研究会で私は、政府の調査やマスコミが行った調査、地方公共団体が行った調査など既存の公表調査から取りまとめたが、今回はオリジナルな調査を実行した。今、震災から2年たった東北で何が起きているのかを知りたいが、そこから近い将来心配されている他地域での大きな災害にどのような教訓が引き出せるのかも考えてみたい。

### 1. 調査概要

今回、2種類の調査を実施した。調査Aは、健康に関する調査である。調査Bは、主に社会的な意見や生活に関する調査である。

#### 資料1 調査の概要

#### 1. 調査の概要

**調査 A 「東日本大震災後の健康および生活に関するアンケート調査」**  
(被災3県(岩手・宮城・福島)とそれ以外の都道府県を対象、850 サンプル。調査日は 2013 年 3 月 21 日。)

**調査 B 「東日本大震災に関する世論調査」**  
(被災3県(岩手・宮城・福島)と首都圏近郊(埼玉県・茨城県・千葉県・東京都)を対象、838 サンプル。調査日は、2013 年 3 月 28 日。)

## 2. 「健康」に関する調査

### (1) 概要

最初に、健康に関する調査だが、ある地域の人々が健康か健康でないかを知るにはどうしたらいいだろうか。大体3つぐらいの方法があると思う。

まず、地域で集団検診をやって、健康か健康でないかを調べるという方法がある。ただ、これを全国規模で強制的に行うという事はできない。現在も行われておらず、結果の公表はプライバシーの問題もあってなかなかできない。

次の方法として、東北大学では被災地の15万人の調査を継続して実施すると決めたが、これを利用することである。しかし、現実には個人の健康状態を直接把握することは非常に難しい。だとするなら、医療費の統計が利用できそうであるが、大震災時という特殊状況の下では、医療の統計が十分ではない。例えば病院の閉鎖、カルテの滅失等パニック状態であった。また、健康保険の提示に関わりなく、まず治療をしたという事情もあって、記録がきちんと残っていない。医療の統計をそのまま使ってしまうと、被災地の件数が少なく見えてしまう。

3番目の方法は、厚生労働省が比較的定期的に行っている国民生活基礎調査がある。健康状態について「良い」、「悪い」、「普通」を自己申告する。「普通」が非常に曖昧ではあるという問題はある。この調査は3年に1回しか行われていない。最後の調査は震災1年前の平成22年で、次が25年と今年になっている。

### 資料2 健康に関する調査の結果

## 2. 調査A 健康・生活関連調査の結果報告

### 2-1 健康に関する調査結果

#### (1) 被災直後に被災地住民の健康状態悪化を統計的に確認

表1 東日本大震災直後の心身の健康状態

	身体 <small>（心）</small> の健康				心 <small>（心）</small> の健康			
	全体	良い	普通	悪い	全体	良い	普通	悪い
被災3県	480	20	389	71	480	20	306	154
	100.0	4.2	81.0	14.8	100.0	4.2	63.8	32.1
その他 全国	370	14	325	31	370	11	290	69
	100.0	3.8	87.8	8.4	100.0	3.0	78.4	18.6
全体	850	34	714	102	850	31	596	223
	100.0	4.0	84.0	12.0	100.0	3.6	70.1	26.2

注：上段は件数、下段は比率。今回のアンケート調査結果(Q1,Q2)より筆者作成。質問文は「あなたの身体(心)の健康についてお伺いいたします。東日本大震災時と現在の身体(心)の健康状態についてご回答ください。選択肢の中から当てはまるものをお選びください。なお、ここで東日本大震災時とは東日本大震災後3ヵ月後くらいまでを指します。」である。

(2) 心身の健康状態について

まず、東日本大震災直後の心身の健康状態について調べた。左側が体の健康、右側が心の健康である。「良い」、「普通」、「悪い」があり、「被災3県」が上で、下が「その他全国」である。体の健康は、やはり被災地のほうで「悪い」と答えている割合が全国よりも高い（資料2-5参照）。心の健康も大きく差があり、「悪い」と答えている人がいる。他の地域と比べて、被災地、震災のあった地域においては健康状態にマイナスの影響が大きく出ていることが初めてわかった。

健康に関する調査は、被災地3県とそれ以外の全都道府県において、850人に対し、今年3月21日に行われた。ちょうど2年たった時期である。この2年間の変化を聞いている。そうすると被災3県の特徴は体の健康について、「良くなった」という人が10%いる中で、「悪くなった」という人がほぼ10%いる。両方で多くなっている。

資料3 震災後2年間の心身の健康状態の変化

**(2)被災後2年間で被災地内での健康格差が拡大しつつある**

**表2 震災後2年間の心身の健康状態の変化**

	身体 <small>の</small> 健康				心 <small>の</small> 健康			
	全体	良くな った	変わら ない	悪くな った	全体	良くな った	変わら ない	悪くな った
被災3県	480	49	384	47	480	75	341	64
	100.0	10.2	80.0	9.8	100.0	15.6	71.0	13.3
その他 全国	370	27	321	22	370	37	301	32
	100.0	7.3	86.8	5.9	100.0	10.0	81.4	8.6
全体	850	76	705	69	850	112	642	96
	100.0	8.9	82.9	8.1	100.0	13.2	75.5	11.3

注：上段は件数、下段は比率。今回のアンケート調査結果(Q1,Q2)より筆者作成。質問文は「あなたの身体(心)の健康についてお伺いいたします。東日本大震災時と現在の身体(心)の健康状態についてご回答ください。選択肢の中から当てはまるものをお選びください。」である。

6

その他の地域は「良くなった」、「悪くなった」もいるが、「変わらない」という人が1番多い。つまり被災3県では良くなった人もいるが、悪くなった人もおり、2つに分かれつつある。それを端的には「変わらない」というところ見ればいい。「変わらない」が被災3県では8割。普通は86%だが、やや真ん中に留まっている人が少なく、左右に分散しつつある。順調に健康を回復ができていない人ともっと悪くなってしまう人に二極分化している。つまり被災地中は、

1つではない。

心の健康もさらにこの分かれ具合が大きくなる。変わらない人も7割で、やはり「良くなった」と「悪くなった」人がそれぞれ、山の左右に分かれている。被災地以外だと8割ぐらいの人が「変わらない」ので、特に心の健康について「良くなった」、回復しつつある人とそうでない、なかなか回復できない状態にある人と分かれつつあるのではないか。

被災最初の1年間はとにかく命を取りとめる、衣食住をケアすることが大切だが、セカンドステップは、状態別にもう少し細やかに見ていくことが求められてくる。

### (3) 性別及び年齢別の心身の健康状態

資料4 震災直後の心身の健康状態の変化（男女別）

(3) 女性、年配者で健康への影響が大きい

表3 東日本大震災直後の心身の健康状態・男女別

		身体の健康				心の健康			
		全体	良い	普通	悪い	全体	良い	普通	悪い
被災3県	男性	240	12	206	22	240	9	174	57
		100.0	5.0	85.8	9.2	100.0	3.8	72.5	23.8
	女性	240	8	183	49	240	11	132	97
		100.0	3.3	76.3	20.4	100.0	4.6	55.0	40.4
その他全国	男性	185	6	168	11	185	5	156	24
		100.0	3.2	90.8	5.9	100.0	2.7	84.3	13.0
	女性	185	8	157	20	185	6	134	45
		100.0	4.3	84.9	10.8	100.0	3.2	72.4	24.3
全体		850	34	714	102	850	31	596	223
		100.0	4.0	84.0	12.0	100.0	3.6	70.1	26.2

注：上段は件数、下段は比率。他は表1に同じ。男女別に集計。

7

性別及び年齢別には、女性の被災地のグループに「悪い」人が非常に多い。男性に比べて倍以上多い。一般的に被災地でないところでも、男性より女性の方が多いが、特に被災地の女性は2割の人が「悪い」と回答している。心の健康も4割の人が「悪い」ので、特に女性にもう少し細やかなケアが必要なのではないか。男女同じではない。

一般的に青色の体の健康よりも赤色の心の健康の不調を訴える傾向がある。被災地でない男性、被災地でない女性、男性より女性の方が大きく、被災地の男性、被災地の女性が1番大きくなっている。被災地の男性を1ぐらいに基準化すると、だんだん被災地に、かつ女性になる



につれて不調を訴える人の割合が高くなり、3倍ぐらいになっている。被災地でありかつ女性であると健康を損なうリスクが非常に高くなっている。

資料5 震災後2年の心身の健康状態の変化（年齢別別）

		身体健康				心の健康			
		全体	良くなった	変わらない	悪くなった	全体	良くなった	変わらない	悪くなった
被災 3県	49歳以下	288	39	224	25	288	58	197	33
		100.0	13.5	77.8	8.7	100.0	20.1	68.4	11.5
	50歳以上	192	10	160	22	192	17	144	31
		100.0	5.2	83.3	11.5	100.0	8.9	75.0	16.1
その他 全国	49歳以下	222	20	188	14	222	29	179	14
		100.0	9.0	84.7	6.3	100.0	13.1	80.6	6.3
	50歳以上	148	7	133	8	148	8	122	18
		100.0	4.7	89.9	5.4	100.0	5.4	82.4	12.2
全体		850	76	705	69	850	112	642	96
		100.0	8.9	82.9	8.1	100.0	13.2	75.5	11.3

注：上段は件数、下段は比率。他は表2に同じ。年齢別に集計。

これは、年齢別に見たものであり、49歳と50歳以上で分けている。被災地とそれ以外でちよと変なことが起きている。49歳以下の若い世代は「良くなった」が「悪くなった」よりも多く、若い人は回復基調にある。ところが、50歳以上の方は「良くなった」よりも「悪くなった」ほうが多く、この二分化が年齢別で起きているのではないか。心の健康についても、やはりこの2つの山の分化が起きている。

ただし、心の健康は被災地以外でも若い人はよくなって、年寄りには悪くなる傾向がある。被災地でないところの数字も大きくなっているため、その傾向は強く出ている。ただ、珍しいのは、被災地以外の部分では、「悪くなった」人は50歳以上でやや少なくなっている。ここは傾向がかなり違う。大きく言うと、やはり心の健康、体の健康で若い人は、例えば仕事が見つかって生活が回復するなどが考えられるが、年輩の方は家を失って、特に住んでいる場所が変わるのは非常にストレスになると聞いている。自分が望ましい元の生活になかなか回復できないという点が心配される。

(4)医療機関の受診状況

表5 東日本大震災時の受診状況

		全体	受診している	必要だが受診していない	受診の必要が無い
居住地 地域 男女別	全体	850	232	91	527
		100.0	27.3	10.7	62.0
	被災地・男性	240	59	32	149
		100.0	24.6	13.3	62.1
	被災地・女性	240	69	22	149
		100.0	28.8	9.2	62.1
	その他・男性	185	55	19	111
		100.0	29.7	10.3	60.0
その他・女性	185	49	18	118	
	100.0	26.5	9.7	63.8	

注：表の上段は、回答者数(人)。下段は、全体に対する回答率(%)を表す。  
 Q3:あなたの病院等への受診状況についてお伺いします。現在の身体と心の健康疾患にかかわる病院等への受診状況をご回答ください。選択肢の中から当てはまるものをお選びください。

表6 現在の受診状況

		全体	受診している	必要だが受診していない	受診の必要が無い
居住地 地域 男女別	全体	850	59	82	709
		100.0	6.9	9.6	83.4
	被災地・男性	240	17	27	196
		100.0	7.1	11.3	81.7
	被災地・女性	240	15	23	202
		100.0	6.3	9.6	84.2
	その他・男性	185	16	17	152
		100.0	8.6	9.2	82.2
その他・女性	185	11	15	159	
	100.0	5.9	8.1	85.9	

注：表の上段は、回答者数(人)。下段は、全体に対する回答率(%)を表す

東日本大震災後3か月ぐらいで、「受診をしている」、「必要だが受診をしていない」、「受診の必要がない」から回答してもらった。自己判断ではあるが、被災地の男性で必要だが受診していない人が13%でやや多くなっている。そして、これが2年後の現在になると、女性にもこれが広がる。「必要だが受診していない」人が被災地以外では8%だが、9%を上回るようになっている。

本当は健康を回復するために必要な治療を施さなければいけないにもかかわらず、何らかの事情によってしていない人が男性だけではなく女性にも広がりつつある。これがずっと続くと、ますます健康格差、あるいは病気が悪化していく。必要な受診と、その機会の用意することが必要であろう。

## 2. 「社会的な意見や生活に関する調査」に関する調査

### (1) 生活環境のうち収入、住環境、人間関係

次に「社会的な意見や生活に関する調査」である（資料2-12参照）。

まず、生活環境のうち収入、住環境、人間関係の3点について、震災前と比べてあなたの現在の状況はどう変わったか聞いた。

資料8 収入の変化

(1)収入		表7 収入の変化					
		全体	良くな た	少し良くな た	変わらな い	少し悪くな た	悪くな た
全体		850	21	58	519	149	103
		100.0	2.5	6.8	61.1	17.5	12.1
居住地 域別	被災3県	480	14	38	276	81	71
		100.0	2.9	7.9	57.5	16.9	14.8
	その他地 域	370	7	20	243	68	32
		100.0	1.9	5.4	65.7	18.4	8.6

注:表の上段は、回答者数(人)。下段は、全体に対する回答率(%)を表す。

資料9 住環境

(2)住環境

住環境面では明らかに被災地で悪化。

表8 住環境の変化

		全体	良くなっ た	少し良くなっ た	変わらな い	少し悪くなっ た	悪くなっ た
全体		850	19	35	659	91	46
		100.0	2.2	4.1	77.5	10.7	5.4
居住地 域別	被災3県	480	15	24	329	72	40
		100.0	3.1	5.0	68.5	15.0	8.3
	その他地 域	370	4	11	330	19	6
		100.0	1.1	3.0	89.2	5.1	1.6

注：表の上段は、回答者数(人)。下段は、全体に対する回答率(%)を表す。

14

資料10 人間関係

(3)人間関係

人間関係は被災地で「悪化した」とする回答が多い反面、「良くなった」とする回答もその他地域より多く、2分化している可能性がある。

表9 人間関係の変化

		全体	良くなっ た	少し良くなっ た	変わらな い	少し悪くなっ た	悪くなっ た
全体		850	15	81	652	75	27
		100.0	1.8	9.5	76.7	8.8	3.2
居住地 域別	被災3県	480	10	56	342	53	19
		100.0	2.1	11.7	71.3	11.0	4.0
	その他地 域	370	5	25	310	22	8
		100.0	1.4	6.8	83.8	5.9	2.2

注：表の上段は、回答者数(人)。下段は、全体に対する回答率(%)を表す。

15